



PAPチームメンバー

～ 親子三代夏祭り千葉おどり参加～

受付開始日:8月1日

いろいろな国の人と「千葉おどり」と一緒に踊り、楽しいひとときを過ごしませんか?当日、事前に踊りの練習をするので初心者でも大丈夫です。

開催日時:平成19年 8月19日(日) 16時～20時(予定)

場所:千葉市中央区銀座通り周辺

定員:60名(先着順)※小学生以下は保護者同伴。

申込方法:協会窓口、E-mail、FAX(6ページ下記載)

氏名、国籍、住所、電話番号、参加人数をお知らせください。



浴衣、帯を
お譲りください!

PAPチームや交流サロンで外国人などが着用する浴衣、帯が不足しております。使わなくなったものがありましたら、ぜひ、譲ってください。
※事前にクリーニングしていただけると助かります。
連絡先:協会(担当:鈴木) ※6ページ下記載

参加者募集!

日本語スピーチ大会

企画・運営ボランティア募集

平成19年10月27日(土)に外国人の日本語スピーチ大会を開催します。このスピーチ大会を企画・運営するボランティアを募集します。ご希望の方はE-mailで、氏名、運営ボランティア希望の旨を協会あてお知らせください。協会の国際交流支援ボランティアの方は、申込の際にボランティアIDもお知らせください。未登録の方は事前に協会窓口で登録をしてください。なおスピーチ発表者は後日国際交流プラザ内で募集します。

⇒昨年度の企画・運営ボランティア体験談を2ページで紹介しています!



第5回 交流サロン

カポエイラを通してブラジルを知ろう!

平成 19 年 3 月 26 日(月)、国際交流プラザ会議室でカポエイラを通して、ブラジル文化を紹介しました。カポエイラは「ダンス」や「格闘技」の枠組みにははまらず、勝敗などないものです。「言葉で説明しづらいからこそ、体で体験することが重要だ」と先生が話していました。ブラジルの音楽に揺られながら運動し、参加者全員がよい汗をかきながら、ブラジルの文化や歴史に触れ交流を深めました。



平成18年度

国際交流・国際協力団体活動助成

ボランティア団体の自主的な国際交流・国際協力活動の促進を図るため、団体の活動事業に要する経費の一部を助成しています。平成 18 年度は 6 団体に助成金を交付しました。



団体名	事業名・事業目的／実施内容	助成金額
千葉中央ライオンズクラブ	<青少年育成国際交流事業> 姉妹都市のノースバンクーバー市から来た青少年交流来業者と千葉視察、例会にて交流親善を図った。	100,000 円
ザンビアの会	<ザンビアの教育・福祉施設支援事業> 寄付された日用品や新品衣料をフリーマーケットで販売し輸送費を確保。衣料・文房具をザンビア共和国の教育・福祉施設へ配布し、国際協力の一環を担った。	180,000 円
千葉市学校派遣日本語指導ボランティアの会	<「外国にルーツを持つ子どもたちの日本語指導」研修と学習支援> 日本語を指導する上での知識、指導技術の向上を図るための研修を行い、子どもが一日でも早く学校生活に適應できるように学校からの要請に基づき日本語指導を行った。	200,000 円
千葉室内ギター合奏団	<ジョン・フリオギター講習会とギター演奏会> バルセロナ市立音楽院ギター科教授による講習とコンサートの実施、また小学校や病院での演奏を通してスペイン文化理解と交流を図った。	200,000 円
千葉市卓球協会	<第3回重村杯千葉市中学生国際オープン卓球大会> 卓球大会を実施し、千葉市及び近隣の中学生と千葉市の姉妹都市その他の中学生との交流と国際理解を深めた。	200,000 円
外国人の為に日本語教室	<日本語教室> 日本で生活するための日本語教育をし、日本の風俗習慣研修として見学旅行をして日本について理解を深めた。	200,000 円



運営ボランティアの皆さん

やって良かった! スピーチ大会運営ボランティア!

平成 18 年 10 月に開催された国際交流推進スピーチ大会は、運営ボランティアの皆さんを中心として、発表者、聴衆者が一体となって楽しみ盛り上がった大イベントとなりました。ボランティアとして活躍された皆さんは初心者の方、ベテランの方、老若男女様々でしたが皆さん口を揃えて言われた一言は「やって良かった!」でした。ボランティアお二人に感想をうかがいました。

ボランティアに参加するのは今回が初めてでした。最初は、初対面の方ばかりで打ち合わせがなかなかスムーズに進まなかったように感じましたが、得意分野を積極的に活かそうという意欲がある方が多く、何度か会ううちにスムーズに話がすすみました。担当はプログラムの作成や当日の採点集計で、1 時間以内に 100 人の集計表を集めて表彰者を決めたり、賞状の印刷の際にプリントが上手くいかず皆で大慌てしたのも今では良い思い出です。年齢・職業・性別様々なメンバーで、普段の生活だと接点が無く、お話をする機会がない方ばかりと会うことができました。自分とは違う道を歩かれてきた経験豊かな方々の話を聴くのは本当に楽しいですし、視野を広げてくれました。スピーチ大会で出会えた方、「プライズレス」って感じです。

ボランティアというと敬遠される方がいらっしゃるかもしれませんが、皆ができることを持ち寄って、それが一つの形になれば良いのかなと思います。難しいことは一切ありません。皆さんも、一度参加してみてください!
(木村さん)

私は出場者募集のポスター作りの担当でした。そのイラストを娘に頼んだところ、娘も大変興味を示し、私が考える国際交流のイメージを上手にイラストで表現してくれました。思いがけず親子で参加することができ、大会当日も楽しいひとときを過ごすことができました。世代を超えての活発な意見交換がされ、少しでも大会を良いものにしようとして労を惜しまれない皆さんの意気込みに圧倒されました。シニアパワーの大きさ、温かさ。自分のこれからの生き方の道標となりました。娘は飛び入りの自分を温かく迎え入れてくださったボランティアの皆様へ感謝しつつ、学校生活とは違う空気の中での活動を楽しんでいました。大会後もメールで近況報告をいただいたり、お食事をしたりと交流が続いています。

スピーチ大会の魅力は世代・民族を超えての交流で、娘たちも手を離れた今、これをきっかけにボランティア活動が私のこれからのライフワークになりそうです。
(金田さん)



金田さん親子が作ったポスター

＝ 平成18年度事業報告 ＝

※各事業詳細については協会ホームページに掲載しています。

〈自主事業〉

1 多文化理解推進事業

●交流サロン（馬頭琴演奏の鑑賞と茶道体験、PAP（親子三代夏祭り「千葉おどり」）、ラテンアメリカの紹介と料理試食、迎新春茶話会、カポエイラを通してブラジルを知ろう）



メキシコ民族舞踊

●国際交流推進スピーチ大会

●語学講座（英語サロン、こども英語サロン、中国語・韓国語初級）

●国際協力講座（JICA 広尾の協力による中国天津市の紹介やミニ公演会）

●青少年交流

カナダ・ノースバンクーバー市（派遣・受入 37 回目）、アメリカ・ヒューストン市（受入 24 回目）、スイス・モントルー市（派遣 9 回目）

●スイス・モントルー市民親善訪問団（姉妹都市提携 10 周年記念）

●千葉市国際文化フェスティバル（友好都市提携 20 周年記念、中国天津市より「中国天津芸術団」を招き、伝統芸能を市民へ紹介）



古典舞踊（絶世美人）

2 市民活動支援事業

●国際交流ボランティア登録・斡旋

●ボランティア研修（日本語学習支援ボランティア講座（入門・養成・実践）、災害時通訳ボランティア研修、日本語学習支援ボランティア交流会）

●国際交流・国際協力団体活動助成

●ちば市国際ふれあいフェスティバル支援（会場：センシティタワー、ステージ発表、バザー、書道・外国料理体験など）



ベリーダンス（ステージ発表）

●日本語教室ネットワーク（市内の日本語教室を協会ホームページへ掲載し紹介）

3 外国人市民支援事業

●外国人生活相談（英語、中国語、韓国語、スペイン語、ポルトガル語での相談受付、三者電話通訳サービスでの対応）

●外国人法律相談

●留学生へのリサイクル自転車斡旋（千葉大学、神田外語大学へ斡旋）

●留学生学習奨励（私費留学生へ図書券交付）

●多言語情報誌発行（市政だより等を英語・中国語に翻訳、ホームページへも掲載）

4 情報収集・提供事業

●協会情報誌発行（「ふれあい」発行）

●英語版情報誌発行（「The New Gateway」発行）

●ホームページ運営（日本語・英語・中国語・韓国語・スペイン語）

●情報ラウンジ（外国語の書籍・日本語学習教材の充実、インターネットコーナー設置）

〈受託事業〉（千葉市からの委託事業）

●千葉市国際交流プラザ運営業務

平成18年度賛助会員会費報告

賛助会員の皆様からいただいた会費は、協会自主事業に充てさせていただきますのでご報告いたします。ご支援ありがとうございます。外国人市民は年々増加しており、外国人相談や多文化理解推進事業の必要性はますます増してきております。こうした活動はひとえに会員の皆様のご協力により支えられております。会員の皆様には平成19年度も引き続きご支援いただきたくよろしくお願いたします。

■収入	8,673,652 円	
賛助会員会費		2,458,000 円
その他（基本財産利息収入、講座受講料等）		6,215,652 円
■支出	8,673,652 円	
自主事業		
多文化理解推進事業		4,105,793 円
市民活動支援事業		1,879,685 円
外国人市民支援事業		472,626 円
情報収集・提供事業		2,215,548 円

＝平成19年度＝ 事業計画

※各事業詳細については協会ホームページに掲載しています。

〈自主事業〉

1 多文化理解推進事業

- 交流サロン（イベント等を通して市民と外国人市民との交流）
- 国際交流推進スピーチ大会
- 語学講座（はじめての韓国語講座、はじめての中国語講座、中級中国語講座、英語サロン、子ども英語サロン）
- 青少年交流事業

カナダ・ノースバンクーバー市（派遣・受入）、アメリカ・ヒューストン市（派遣）、スイス・モントルー市（受入）

- 千葉市国際文化フェスティバル（姉妹都市提携35周年 アメリカ・ヒューストン市から文化芸術団を招き、市民へ伝統芸能を紹介）

2 市民活動支援事業

- 国際交流ボランティア登録・斡旋
- ボランティア研修（日本語学習支援ボランティア講座（入門・養成・実践）、通訳ボランティア研修（災害時通訳の知識習得））
- 国際交流・国際協力団体活動助成（助成限度額の引き上げ等、助成対象範囲の拡大）
- ちば市国際ふれあいフェスティバル支援
- 日本語教室ネットワーク（市内の日本語教室と連携を図り、日本語学習を希望する外国人市民への支援を図る）

3 外国人市民支援事業

- 外国人生活相談
- 外国人法律相談（千葉県弁護士会の協力による無料法律相談）
- 留学生へのリサイクル自転車斡旋（市内大学へ斡旋）
- 留学生学習奨励（私費留学生へ図書券交付）

4 情報収集・提供事業

- ホームページ運営（日本語・英語・中国語・韓国語・スペイン語）
- 協会情報誌発行（「ふれあい」発行）
- 英文情報誌発行（「The New Gateway」発行）
- 多言語情報誌発行（市政だより等の翻訳、英語版・中国語版）
- 情報ラウンジ（外国語の雑誌・新聞・書籍・日本語学習教材等の整備、インターネット利用のできるパソコンによる情報提供）

〈受託事業（千葉市からの委託事業）〉

- 千葉市国際交流プラザ運営業務



外国人生活相談

協会では外国人市民からの日常生活に関する相談を受付けています。

英語	月～土	9:00～16:30
中国語	火・木	10:00～15:30
	土	9:00～16:30
韓国語	月・水・金	10:00～15:30
ポルトガル語	火・木	15:00～19:30
	土	9:00～16:30

スペイン語

月・水・金 15:00～19:30

※休憩時間でスタッフがいない場合があります。

- 費用：無料
- 場所：千葉市国際交流プラザ
- 相談方法：窓口、電話、Eメール、FAX

三者電話通訳サービス

行政窓口や学校（保育所含む）と外国人市民の会話に、協会（通訳者）を交え3者で同時に通話し、必要な事項を通訳いたします。

- 利用できる言語・時間帯
※上記「外国人生活相談」受付時間帯と同じです。
- 利用できる相手先
千葉市内の区役所・保健福祉センターなどの行政窓口、千葉市立の小・中学校、保育所など
※病院での治療行為や学校での授業補助の通訳など、専門的な行為の通訳は

できません。

●利用方法

- ①協会へ電話をする。
- ②通訳してほしい相手の電話番号を伝え、そのまま待つ。協会からその人へ電話をかけます。
- ③三者が同時に話せます。伝えたい事項を言ってください。



外国人無料法律相談

外国人市民が抱える法律一般にかかわる問題について無料で弁護士に相談できます。

- 相談日時
2007年 7月23日（月）
2007年 9月10日（月）
2007年 11月19日（月）
2008年 1月21日（月）
2008年 3月17日（月）
時間はすべて 13:00～16:00
- 場所：千葉市国際交流プラザ会議室（協会事務局となり）
- 費用：無料

- 定員：8名（先着順）

- 言語：日本語

※日本語を話せない方は

- ①できる限り通訳を同伴してください。
- ②通訳を同伴できない場合は、事前に相談してください。

- 申込：窓口、電話、Eメール、FAX、郵送

- 締切：原則、相談実施日の10日前

NEW!

日本語学習教材入りました!

千葉市国際交流プラザ内に、日本語学習のための教材や外国人向けに日本文化などを紹介した書籍を新たに配置しました。教材については、協会の日本語学習支援ボランティア向け講座講師の松本明子先生のアドバイスに基づき多種そろえました。新しい教材の一部を松本先生のコメントと共にご紹介します。(※教材・書籍はプラザ内でのみ利用可です。貸出はしておりません。)



日本語学習教材 松本先生推薦図書

「漢字と日本人」 高島俊男著 (文藝春秋)
「日本語の歴史」 山口仲美著 (岩波新書)
「外国語としての日本語」 佐々木瑞枝著 (講談社)

日本語ボランティアをはじめた皆さんは日本語に以前よりずっと敏感になり興味が深まってきたはず。最初の2冊は日本語の歴史や日本人と漢字の関わりなどが分かりやすく簡潔に書かれていて、最後まで興味を持って読めると思います。日本語学習支援ボランティアを継続していく上で裏打ちになる知識や素養を培うのに適した本です。「外国語としての日本語」は実際に日本語教育に携わる著者が遭遇した事例を通し日本語を客観的にみるということは、言い換えれば日本語を一外国語としてみるということはどういうことが気づかせてくれます。



「新明解日本語アクセント辞典」 金田一春彦監修 (三省堂)

個々の日本人は生まれた場所も育った場所もそれぞれです。そのなかで己の言葉を発音も文法も獲得します。コミュニケーションはそれでどこでも成り立ちます。ただ日本語ボランティアをするとき標準的アクセントを調べることも大切なことです。

「初級を教える人のための日本語文法ハンドブック」(スリーエーネットワーク)
「中上級を教える人のための日本語文法ハンドブック」(スリーエーネットワーク)

学習者からでる文法的な質問はこの2冊で大体解決するでしょう。しかしボランティアが読んで分かったからと言って、得た知識そのままの説明で学習者が理解するかは難しいところです。そこには工夫が要ります。導入技法を磨かなければなりません。

「教師と学習者のための日本語文型辞典」 グループジャマシイ編著 (くろしお出版)

日本語を文型として捉えて解説していて一般の国語辞典では得られない情報が満載で、例文が豊富で使い易いです。中級レベル以上の学習者、教師、勿論ボランティアにも役立つ辞典です。繁体字版、簡体字版もあるので漢字圏の学習者に便利です。

例えば「もの」という一つの単語を考えてみましょう。

このアプローチは母からもらったものです。…①
子供が風邪をひいたものですから明日はちょっと伺えません。…②
人に会ったらきちんと挨拶するものです。…③

①の「もの」は品物即ちアプローチを指していることは容易にわかります。けれど②や③の「もの」は品物ではないし…、こんなとき「もの」を文型のなかで捉えましょう。こんな文型を知るには一般の国語辞典では不十分でこの「文型辞典」こそボランティアにも学習者にも強力な助っ人となる辞典です。

まわり★ボランティア

「日本語学習支援ボランティアのすすめ」

日本語学習支援ボランティア 松村 紀夫

もともと外国の人との交流や海外長期滞在に興味を持っており、リタイア後の新しい試みとして日本語学習支援を始めました。松本先生の日本語学習支援ボランティア講座を受講し、国際交流プラザで6年程で6~7人の外国人学習者を担当しています。国籍も職業も多様、日本語レベルも様々で変化に富んだ経験をしております。週1回の個人指導では、急速な進歩は望めないとしても、熱心に予習・復習する学習者に出会うと嬉しいものです。日本語を教える中で相手も腹を割って話せるようになるのがとても楽しいです。

5年前、知人からの紹介でマレーシアのキャメロンハイランドで日本語学習支援のボランティアを引き受け、1ヶ月ほど6人の中国系の生徒のクラスを担当しました。週3回、2時間程度の指導ですが、日中は遊び歩き、夕方自分の役割があるのも生活の充実感を持てます。再度、家内とキャメロンを訪問した際には、当時のクラスのメンバーが集まり歓迎してくれたり、今でも時々日本語で手紙を送ってくれる生徒もいます。今年の1月にはフィリピンの元米軍基地跡のスーピック特区で、1ヶ月、日本語学習支援ボランティアに参加しました。



フィリピン・スーピック特区にて学習者と(後列:本人)

週3回、昼は日本食レストランの従業員、夜は会社員と2クラス担当しましたが、日々出席数が変わり、進度調整に苦労しました。個人指導では週1回に対し、クラス指導は週3回ですが、全員のレベル合わせもあり、進度は同じ位になります。

クラス指導の方が会話練習が多く、繰り返しが多くなり覚え易いのだと思います。常々感じるのは、日本語学習支援をする際には、松本先生に教わった基本が生きてることです。海外ボランティアの問題は、渡航費・宿泊費・食費等全て自前で1ヶ月以上の滞在が必要となります。しかし、授業以外の時間には現地で長期滞在生活を楽しむことができます。現地の人や教師仲間で交流するのも一つの楽しみです。海外でまで活動するようになったのは、協会での日本語学習支援ボランティア登録・講座受講がきっかけです。新しい充実感・達成感ある生きがい発見のきっかけとして、日本語ボランティア活動にぜひ一度参加されることをお勧めします。

▶国際交流ボランティア登録については6ページをご覧ください。皆さんのボランティア体験談を協会までお寄せください!

ご利用ください! 千葉市国際交流プラザ

プラザでは、国際交流・国際協力に関する情報や市民と外国人市民の交流の場を提供しています。皆さんぜひご利用ください!



●無料!インターネットコーナー

インターネット検索ができるパソコン2台がご利用になれます。

●利用時間/月曜日～金曜日 9:00～19:30
土曜日 9:00～16:30

●利用方法/受付で申込後、1人1回30分利用できます(延長1回可)。WEBメールはご利用になれません。

●ふれあいボード



個人の情報交換のための掲示板です。国際交流・国際理解に係るイベント情報、語学や文化を教えたい・教えてほしい、友達・サークルメンバー募集など1ヶ月間掲示ができます。

※営利目的、政治活動、宗教に関するもの、不適切な内容のものは掲示できません。

★掲示用紙:協会所定用紙又はA4判まで

募集! 国際交流ボランティア



日本語学習支援ボランティア

★国際交流ボランティア:日本語学習支援、ホームステイ(宿泊あり)、ホームビジット(宿泊なし)、文化紹介、国際交流支援(イベント補助など)、通訳・翻訳、災害時通訳

★参加資格:ボランティア活動に熱意のある方。(※18才未満の方は親権者の同意が必要です。)

★登録方法:協会窓口にて所定登録用紙を記入。

★受付時間:随時(下記、国際交流プラザ開館時間)

賛助会員募集!

協会の事業は多くの市民の皆さまの支援によって支えられています。協会の事業にご理解・ご賛同いただき、ぜひ賛助会員にご加入ください。賛助会員会費は協会事業の運営費として地域の国際交流や国際協力事業等に活用させていただいています。

●年会費:個人 1口 2,000円(1口以上/年)
団体・法人 1口 10,000円(1口以上/年)

! 年会費は毎年4月から翌年3月末までの期間の会費です。

●特典:★協会情報誌「ふれあい」(年4回発行)送付による情報提供
★協会主催有料講座の受講料割引 ★各種イベントでの会員特典

! 法人会員の皆様へ! 個人を対象とした特典(受講料割引、各種イベント特典)について、法人会員の方は5名までが対象となります。

●入会方法:協会窓口で随時受け付けています。ご希望の方には資料を郵送いたします。

賛助会員の方で「ふれあい」を次号より、E-mailでの送付を希望される方は協会(下記宛先)までご連絡ください。



特典例:英語サロン(賛助会員限定講座)

千葉市国際交流協会案内図



編集・発行 財団法人 千葉市国際交流協会

〒260-0028 千葉市中央区新町1000番地 センシティタワー12F

TEL 043-238-8000 FAX 043-238-8550

E-mail ccia@ccia-chiba.or.jp URL http://www.ccia-chiba.or.jp

千葉市国際交流プラザ

OPEN 月～金 9:00～20:00
土 9:00～17:00

CLOSE 日・祝・年末年始(12/29～1/3)

広告募集

協会情報誌「ふれあい」に広告を出しませんか?

年4回、各3,000部の発行です。広告掲載希望の方は協会までご連絡ください。

<費用> 1回 5,000円

<掲載サイズ> たて 45mm × よこ 85mm

情報誌配布先一覧 (千葉市内)

協会賛助会員(個人・団体)、JR千葉駅、アクアリンクちば、千葉三越、区役所、市民センター、コミュニティセンター、公民館、郵便局、千葉県中央旅券事務所、市内大学、語学学校、市民会館、県文化会館、美術館、いざいきプラザ、図書館、ことぶき大学ほか

日本語教育の専門書店

広告

ぜひご来店
ください。



http://www.bonjinsha.com/
info@bonjinsha.com

東京・麹町店

〒102-0093 千代田区平河町1-3-13

菱進平河町ビル1F TEL: 03-3239-8673 FAX: 03-3238-9125

古紙配合率100%再生紙使用

